

## 5. 貿易指数データの作成に関する調査研究

### 〔報告書の概要〕

米国経済が減速し、世界経済が足踏みする中、2001年の日本経済はマイナス成長となり、不透明な経済環境が続いている。日本の輸出金額が減少したこともあり、90年代から続いてきた大幅な日本の貿易黒字もかなり縮小した。一方、日本企業の海外投資が増大し、国内産業の空洞化が懸念される中、輸入金額も引き続き増大傾向にある。特に農産品、軽工業品を中心に中国からの輸入増大に関心が集まった年でもあった。国内経済に閉塞感が広がる中で、アジア経済と結びつきを強めることが、日本経済にとってどのような意味を持つかが問われたとも言える。また、円の為替レートは2000年には100円台まで上昇したが、2001年には再び120円台の円安で推移している。通常、円高によるJカーブ効果が出るのは1年半程度と言われているので、1998～2000年にかけて起きた円高によるJカーブ効果が現在の日本の貿易に与える影響についても検討が必要である。

こうした認識のもと、本報告書では、日本の品目別、地域別の輸出入の数量指数、価格指数を作成し、これらの指数を用いて日本の貿易構造を分析した。上記のような日本の貿易構造変化の実体は、金額ベースだけでは正確に把握できず、数量と価格の要因に分けて分析することが重要である。これによって地域ごとの輸出入変化がより明確となると同時に、国別の貿易構造変化などの分析が可能となる。また、本報告書では日本の貿易指数に加えて米国のデータを用いた米国版の貿易指数を試算した表も掲載した。

本報告書では、付表1として部品類も含めた機械類を中心に、機械種別に輸出入数量指数、金額指数、価格指数を掲載した。また、付表2、3にはそれぞれ商品特殊分類別、製品と主要商品分類基準別の貿易指数を掲載した。いずれも、対世界、米国、EU15、NIEs、ASEAN4、中国、東アジアの7地域別に指数を算出している。さらに、付表4には、アジア主要8ヶ国（韓国・台湾・香港・シンガポール・タイ・マレーシア・フィリピン・インドネシア）別の主要商品の貿易指数も掲載した。また暦年データは1994年～2001年を円ベースとドルベースで、四半期データは1998年～2001年を円ベースでそれぞれ示してある。最後に付表5として米国の貿易指数を示した。

### 〔2001年の日本貿易の全体動向〕

・日本の貿易収支は、ここ2年連続して減少したが、2000年の要因は主として価格要因（特に原油価格の上昇）によるものであり、2001年は、主として輸出数量の減少によるものである。

・ 2001 年の輸出数量の減少は主として I T 関連産業の世界的な低迷により米国、NIEs への輸出数量が減少したことと、2000 年までの円高効果のタイムラグを置いた影響の結果である。

・ 輸入金額は増大しているが、輸入数量で見るとむしろ減少している。対アジア輸入数量も前年とほとんど変わっていない。輸入金額の増大は、2001 年に入ってから円安によって円ベースでの輸入価格が上昇していることが大きい（円安による Jカーブ効果）。

・ これらから言えることは、2000 年以降の日本の貿易黒字の減少は、日本の産業競争力に伴う長期的・構造的なものと言うよりも、石油価格の上昇、米国を中心とする I T 関連産業の低迷、円安に伴う Jカーブ効果、などのマクロ的な要因によるものが主である。

表1 日本の相手国・地域別の輸出数量の推移 (1999-2001年)

	輸出数量 (1995年=100)				伸び率 (%)		
	1998年	1999年	2000年	2001年	1999/1998	2000/1999	2001/2000
対世界	109.2	111.6	122.8	109.2	2.2	10.0	-11.1
対米国	113.4	118.9	122.3	102.8	4.9	2.9	-15.9
対EU15	131.0	127.9	124.5	110.0	-2.4	-2.7	-11.6
対東アジア	91.6	96.9	114.3	104.2	5.8	18.0	-8.8
対NIES	94.5	98.7	116.5	97.5	4.4	18.0	-16.3
対ASEAN4	72.1	79.0	95.6	85.3	9.6	21.0	-10.8
対中国	119.1	145.3	173.1	259.2	22.0	19.1	49.7

表2 日本の相手国・地域別の輸入数量の推移 (1999-2001年)

	輸入数量 (1995年=100)				伸び率 (%)		
	1998年	1999年	2000年	2001年	1999/1998	2000/1999	2001/2000
対世界	103.2	111.2	127.4	124.8	7.8	14.6	-2.0
対米国	97.5	96.4	97.0	85.3	-1.1	0.6	-12.1
対EU15	93.9	95.6	99.8	102.8	1.8	4.4	3.0
対東アジア	106.0	123.6	147.9	149.6	16.6	19.7	1.1
対NIES	92.1	108.8	128.3	119.2	18.1	17.9	-7.1
対ASEAN4	108.1	120.3	135.2	132.6	11.3	12.4	-1.9
対中国	117.1	139.7	172.2	186.7	19.3	23.3	8.4

表3 日本の品目別輸出数量の推移 (1999-2001年)

	輸出数量 (1995年 = 100)			伸び率 (%)	
	1999年	2000年	2001年	2000/1999	2001/2000
総輸出	111.6	122.8	109.2	10.0	-11.1
食料等	122.8	128.3	162.9	4.5	27.0
工業用原料	112.3	117.0	112.8	4.2	-3.6
資本財	105.8	123.2	105.6	16.4	-14.3
非耐久消費財	110.0	118.5	115.6	7.7	-2.4
耐久消費財	131.5	127.1	116.5	-3.3	-8.3

表4 日本の品目別輸入数量の推移 (1999-2001年)

	輸入数量 (1995年 = 100)			伸び率 (%)	
	1999年	2000年	2001年	2000/1999	2001/2000
総輸入	111.2	127.4	124.8	14.6	-2.0
食料等	103.0	106.5	106.7	3.4	0.2
工業用原料	97.3	106.7	103.1	9.7	-3.4
資本財	161.7	203.6	195.2	25.9	-4.1
非耐久消費財	103.7	123.9	128.6	19.5	3.8
耐久消費財	91.4	105.2	110.5	15.1	5.0